

平成30年度

学校経営方針

秋田県立比内支援学校

校長 佐藤 正好

I 学校の概要

1 学校の所在地域

本校：秋田県北部に位置し、日本三鶏の一つ「比内地鶏」の産地で有名な大館市比内町に開校

かづの校：「花輪ばやし」と「大湯ストーンサークル」で有名な鹿角市花輪に開校

たかのす校：「大太鼓の里」北秋田市に位置する社会福祉法人の総合福祉施設に隣接して開校

2 県立特別支援学校〈知的障害教育〉では県内で一番の歴史

本校：昭和49年4月開校(寄宿舍併設)、昭和59年高等部設置

分校：昭和52年(両分校ともに、社会福祉法人立の児童施設に隣接)開校

かづの校(平成10年)、たかのす校(同12年)が、それぞれに高等部設置

3 緑豊かな自然に恵まれている・・・学校緑化コンクール、学校花だんコンクール等で受賞多数

H29年度県緑化コンクールにおいて県知事賞受賞

本校：校地の総面積約5万㎡(内、農業実習地1万5千㎡)

かづの校：約8千㎡、たかのす校：約7千㎡

4 県教育委員会及び文部科学省委嘱の研究への協力等実績

職業自立調査研究、就職サポート事業、障害児理解推進、交流教育推進、適正就学推進

センター的機能充実研究、児童生徒放課後生活支援事業、教育課程、授業改善、共生充実事業、

特別支援教育に関する実践研究充実事業 職域開拓促進事業 ICT活用教育推進事業

※平成28年度：文部科学大臣表彰(キャリア教育優良校)

5 児童生徒の状況

(1) 児童生徒数 本校98名、かづの校53名、たかのす校47名 計198名

(2) 児童生徒の障害・疾病状況 本校、分校とも障害の多様化、重複化の傾向が続く

医療的ケアの対象児童生徒：本校・たかのす校に 非常勤看護師各1名配置

6 取り組みが求められている事項

(1) 自立と社会参加の力をつける教育課程と授業や生活の質の向上

(2) 多様化する児童生徒の適切な対応と専門性の向上

(3) 共生社会を目指した新たな交流及びセンター的機能の充実

(4) 寄宿舍の理解推進と寄宿舍生増

(5) 校舎改築に向けた業務の推進

II 平成30年度の学校経営

1 方針

本校は県北地区特別支援教育推進の中心校としてその責務の遂行に努めながら、様々な障害や行動特性のある児童生徒に対して、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を一貫して行う。このため、特別支援教育の専門性を高め、日々の授業及び生活指導を充実させ、「自立と社会参加」を目指す教育活動を展開する。

2 教育目標

児童生徒一人一人の障害の状態や発達段階、特性に応じた教育環境を整備し、個別の指導計画

の達成を目指し、一人一人の可能性を最大限に引き出しながら、自立的に社会参加できる力の育成に努める。

この目標を達成するために、以下の「目指す子ども像（校訓）」を掲げ、日々の教育を実践する。

健康・・・・・・・・心身ともに健康になろうと努力する子ども
誠実・・・・・・・・喜びをもって精一杯努力する子ども
自立・・・・・・・・自分のことは自分の力で成し遂げようと努力する子ども

3 平成30年度学校経営の重点

(1) 「地域と共に育ち、地域に感謝される学校づくり」を推進する。

- ① 恵まれた自然環境や地域環境を生かした教育課程を編成し、児童生徒の実態に即した特色ある教育活動を展開する。
- ② 「街は大きな教室だ」を合言葉に地域との共催行事の実施、製作物や収穫物の地域への販売、商店街へのプラントナー設置、老人施設訪問、夜回り隊などの地域と共に育つ教育活動や感謝される体験を通して「本物の力」を育てる。
- ③ これまで培ってきた専門性を生かし、地域の特別支援教育のセンターとして求められている機能を積極的に推進するとともに、関係機関と連携しながら人材育成に努める。
- ④ PTA、学校後援会、進路後援会等の一層の活性化を通して、社会に参加する力を育む指導の充実に努める。

(2) 「子どもの思いや願いに応える」をキーワードとし、社会に参加する力を育む教育活動や実践研究充実事業を展開する。

- ① 「おだやかに、ゆるやかに、ていねいに」を基本とし、体験的実地的な学習を工夫しながら、常にチャレンジのある学習活動を展開する。
- ② 「主体的・対話的で深い学び」の視点により授業や生活の質を高め、児童生徒の時代に求められる資質・能力を醸成する。
- ③ 「考える」時間と場の保障、「やった」と達成感を味わう仕掛け、自分の気持ちを「伝える」力を育成する。
- ④ 新たな職域開発や地場産業等に立脚した職業教育や進路指導をより充実させ、働く力を含めたキャリア教育の充実を図る。
- ⑤ 「気持ちの安定」を図ることを生活の主軸とし、職員間で共通理解してプロの対応をする。問題行動には保護者・学園職員等と連携し、未然・迅速・適切に問題の解決を図る。
- ⑥ 部活動の活性化を図る。

(3) 本分校の公開研究会による新たな発信と専門性を生かした校舎改築業務を推進する。

- ① 弾力的で効果的に業務を遂行する体制を推進する。
- ② 本分校の公開研究会を本分校が一体となって推進する。
- ③ 次の50年を見据えた、地域の特別支援教育の役割を担う校舎改築を推進する。

Ⅲ 平成30年度の学校評価の視点

- ・社会に参加する力を育む教育課程の改善に取り組んでいるか
- ・児童生徒の思いや願いに応える授業を展開しているか
- ・本分校公開研究会による新たな発信や校舎改築業務を推進したか